

令和4年度宮城県国民健康保険運営協議会（第2回）会議録

- 日 時：令和5年2月10日（金）午後1時29分から午後2時36分まで
- 場 所：宮城県行政庁舎4階 庁議室
- 出席委員：10名〔小坂委員（会長）、金野委員、佐藤（幸）委員、奥村委員（Web）、高橋（邦）委員、加茂委員、木下委員（Web）、玉山委員（Web）、藤代委員（Web）、桑原委員〕
 - ※Web：Web会議システムより出席
 - ※欠席：高橋（裕）委員
- 事務局：保健福祉部（伊藤部長、楨国保医療課長）

1 開会	
佐藤副参事	<p>ただ今から、令和4年度第2回宮城県国民健康保険運営協議会を開会いたします。</p> <p>本日の協議会は、情報公開条例第19条の規定に基づきまして、公開となっております。また、協議会の会議録につきましては、後日、委員の皆様にご確認いただいた後、国保医療課のホームページにて公開いたしますので、御了承をお願いいたします。</p> <p>なお、本協議会の傍聴につきましては、お手元に配布の傍聴要領に従っていただきますようお願いいたします。</p> <p>続きまして、委員の皆様のご出席状況を御報告いたします。本協議会の委員は11名でございます。本日はこの会場に6名、また、Web会議システムで4名ということで、計10名の委員の皆様にご出席いただいております。過半数の委員の方に御出席いただいておりますので、国民健康保険運営協議会条例第4条第2項の規定に基づき、本日の協議会が成立しておりますことを御報告いたします。</p> <p>続きまして、今回新たに委員に任命させていただき、本日御出席いただいております委員を御紹介いたしますので、一言御挨拶を頂ければ幸いです。</p> <p>保険医代表といたしまして、一般社団法人宮城県歯科医師会社会保険部会幹事の高橋邦明委員でございます。</p>
高橋（邦）委員	（挨拶）
佐藤副参事	ありがとうございました。よろしくお願ひいたします。
2 あいさつ	
佐藤副参事	続きまして、宮城県保健福祉部長の伊藤より、皆様にご挨拶を申し上げます。
伊藤部長	（挨拶）
佐藤副参事	大変申し訳ございませんが、部長の伊藤につきましては、他の公務のため、ここで退席させていただきますので御了承をお願いいたします。
伊藤部長	大変申し訳ありません。失礼します。

佐藤副参事	<p>それでは、以後の進行につきましては、小坂会長にお願いいたします。</p>
<p>●署名委員の指名 小坂会長</p>	<p>会長の小坂でございます。よろしく申し上げます。 Web会議システムで御出席の方も含めて、委員の皆様の御協力を得ながら進めてまいりたいと思います。どうぞよろしく申し上げます。 まず最初にですね、佐藤勝委員が12月20日のときは本当に元気にされていたのに急逝されたというところで、非常に大きく、私を含めてショックを受けております。 本当に謹んで御冥福をお祈りしたいと思いますので、短時間ではありますが、そのままちょっと黙とうの時間を作りたいと思います。 黙とう。 (一同黙とう)</p>
小坂会長	<p>ありがとうございました。 それでは、まず初めにですね、宮城県国民健康保険運営協議会運営要綱第5条第2項で定める会議録の署名委員を定めたいと思います。 本日は、この会場に参加しておられる委員の中から、加茂委員にお願いしたいと思います。皆様よろしいでしょうか。 (一同承認)</p>
小坂会長	<p>ありがとうございます。 では、加茂雅行委員と会長の私が会議録に署名するという事にいたします。</p>
3 議題	
小坂会長	<p>それでは、次第3の議題に入ります。(1) 令和5年度国民健康保険事業費納付金の本算定結果等について、事務局から説明をお願いいたします。</p>
榎課長	<p>(資料1-1から資料1-6により説明)</p>
小坂会長	<p>非常に丁寧に説明いただきましてありがとうございます。 もともとのシステムが何か複雑怪奇の中で、非常にわかりやすく説明していただいたなあと、いろいろ理解が少し進んだんではないかと思っております。 ただ今の説明につきまして、何か質問、コメント等ありますか。 なかなかその医療費の観点からは厳しいという状況も頂いてますが、医療系の委員の方から、月別のところも気になりますし、やっぱり令和4年にですね、医療費が高くなってる要因について、もし何かコメントあればいただきたいなと思ってるんですが、どうですかね。 奥村委員、保険給付金のかなり増えてるっていう要因、あるいは月別のものに関して何かコメントいただければと思うんですが、いかがですか。</p>

<p>奥村委員</p>	<p>医療費，保険給付費が増えるというのは，超高齢社会を迎えてある程度やむを得ない面もあるのではないかというふうには思ってるんですね。特に昨今コロナの流行とかですね，そういう要因もあると思うんですけども，やはり原則として，医療費抑制にとらわれてですね，医療費を減らす方向であってはならないわけですから，健康教育・予防等により健康を守っていくことが，結局は医療の費用を下げるということにつながるわけですから，少し長い目で見ていただければと思いますね。</p>
<p>小坂会長</p>	<p>ありがとうございます。 ほかにありますか。加茂委員，高橋委員，何かコメントあれば頂きたいと思います。加茂委員からですかね，薬剤の方もかなり高いものも増えてきて，そういう影響とかっていう，何かコメントがあれば。</p>
<p>加茂委員</p>	<p>薬剤の費用そのものについては，多分そんな大きな変動というのは，少なくとも保険診療の医薬品の中ではあまりないとは思いますが。コロナの全盛期の時に比べますと，受診を抑制された方がやはり最近では戻ってきているような印象があって，私の医療機関の方でも，昨年と比べると今年は大体3%くらいは患者さんが増えてらっしゃるといのは数字として把握しておりますので，おそらくそういったことが背景にあるのではないかなというふうに考えております。以上です。</p>
<p>小坂会長</p>	<p>ありがとうございます。 高橋委員，コメントあればお願いします。</p>
<p>高橋(邦)委員</p>	<p>歯科に関して言えば，コロナ禍の初年度の時は相当な落ち込みがあったので，その分の自然増っていう部分もあると思うんですが，それともう一つは，歯科の場合は金属材料費の高騰っていうのがありまして，今，特に金，銀，パラジウム合金の高騰が非常にその割合を占めてまして，私たちの保険収入には関係のないところで相当な金額が上がってしまってるというところがあります。</p>
<p>小坂会長</p>	<p>ありがとうございます。 ほかの委員の方，何かコメントありますか。よろしいですか。 確かに奥村委員がおっしゃられたように，別に高いからいけないというわけではないですし，本当にコロナ禍での受診控えでその後の，がんのものと色々な病気，疾病のちょっと手遅れみたいな話っていうのが結構いろんな世界中で起きてるということも聞いてますので，いろんなそういう要因があるという中で，その分析をしながらですね，やむを得ない部分と，何か効率化できる部分があるのかということも考えながら，医療費自体が上がると考えることは決して悪いことではないと思いますので，その辺を踏まえて，いろいろな多角的な解析ができればいいなと思っております。 あと，ありませんか。佐藤委員，お願いします。</p>
<p>佐藤(幸)委員</p>	<p>資料1-1で，1の(3)ですね，市町村ごとの納付金総額が，30団体が増加して5団体が減少というふうになってるわけですけども，この5団体っていうのは，(2)</p>

	<p>で全体的に本当は納付額が上がってるんですから、減少するっていうのはちょっと理解できないところがあるんですけども、お話を聞くと、2番のそういうふうな後期高齢者の支援の負担金とか、それから社会保険診療の報酬の支払基金、こういったものが結局増加していることで、結果的に全体的に増えている分と、あとは、5団体、どこの市町村とかちょっとわかんないですけども、そういうふうな感じで差が出てきているのかということの確認だけさせていただきます。</p>
<p>榎課長</p>	<p>御質問ありがとうございます。</p> <p>総額が増えるのに市町村によっては減るっていうのは、確かにもう違和感があるところだと思います。その原因といたしましては、資料1-4のところをちょっと御覧いただきたいのですが、資料1-4ですね、A4縦のものでございます。</p> <p>県全体で必要な事業費納付金を各市町村に割り振るときのやり方なんですけど、3番のところ二段書きになってございます。3番のところの一段目から二段目に移るときにですね、応能割については、各市町村の被保険者の総所得金額に応じて案分する。応益割につきましては、各市町村の被保険者数ですとか世帯数に応じて案分するということになっておりますので、非常に豊かな市町村のところには、お金の面でいうと、所得が非常に高い市町村の方に黄色い部分が多く割り振られる。で、青い部分については、人数とか、世帯数が多いところに割り振られるということになりますので、こういった経済的な部分ですとか人数的な部分ですとか、そういったもので多少でこぼが出てまいります。ただ、1人当たり直しますと、やはりどこも増えているという状況になります。以上でございます。</p>
<p>小坂会長</p>	<p>佐藤委員、よろしいですかね。</p> <p>確かに、全体が8%増加してるのに減少っていうところで、人数とか今おっしゃられたようなことも要因ということで解説いただきました。ありがとうございます。</p> <p>ほか、コメントいかがですか。オンラインの皆さんから、何か不明な点があれば、何でも結構です。よろしいですか。</p> <p>では、佐藤委員、お願いします。</p>
<p>佐藤(幸)委員</p>	<p>資料1-1の3ページの、市町村の保険料率の改正に関する検討状況、1月26日現在っていうことなんですけども、実際所得が確定しないと、この年度の税率って決められないんですよ。でも、ある程度そういったその予算の中で、12月の段階で引き上げた、引き上げないでそのままにしておくかというようなことで多分検討されているかとは思いますが、1月の段階ではもう予算なんかできあがっているし、何かあんまり、この調査って意味がないのかなっていうような感じで見ていました。ただ、県内の状況を把握するっていう意味では、参考になるのかなと思っておりました。</p>
<p>小坂会長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>佐藤委員の御趣旨としては、もうこのとき大体決まっちゃってるから、今更調査してもっていう。</p>
<p>佐藤(幸)委員</p>	<p>いや、そうでなくてですね、令和5年度の税率を決める場合は、やっぱり令和5年</p>

	<p>度の所得状況というのを確定しないと、税率ってのは決められないと思うんですね。今までの流れっていうのは皆そうだったわけですね、市町村で計算してって。県に移管されて、納付金制度になってからは、実際どのぐらいの納付になって、それに合わせて今度税率どうするかっていうふうなことが考えられると思うんですけども、今の段階でもまだわからないとかっていうふうなのがあると、今後ですね、標準税率っていうのを統一していくときに、やっぱりこの辺は少し足かせになるのかなっていうふうに思っております。令和8年度からずーっと考えて12年度っていうようなロードマップも出てるようですけども、その辺ちょっと何となく違和感があったので聞いてみました。</p>
小坂会長	<p>すいません、私の理解が不足しておりました。理解しました。今後に向けてですね、やっぱりそういったところで、きちんといろんなところで対応していく必要があるんだろうっていうところがございます。</p> <p>ほかに、いかがですか。よろしいですかね。</p> <p>こういうすごい難しい計算を各自治体でやっているのかと思うと、非常に大変だなと思いつながりました。ありがとうございます。</p> <p>ほかに御意見がなければ、令和5年度国民健康保険事業費納付金の本算定結果については、原案どおりということでもよろしいでしょうか。</p> <p>(一同承認)</p>
小坂会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、続きまして、議題の(2)国民健康保険料(税)水準の統一について、事務局から説明をお願いいたします。</p>
楨課長	<p>(資料2-1から資料2-3により説明)</p>
小坂会長	<p>事務局よりロードマップの案ということでお話いただきました。</p> <p>これにつきまして、各委員より質問、コメント等あればお願いいたします。</p> <p>$\alpha = 0$っていうことは、いろんな医療、医療費の市町村の違いみたいなものも、あんまり考えなくても、ちゃんと同じ統一的なやり方で給付、どこに住んでいても同じようなことになると思います。</p> <p>オンラインの方で。</p>
玉山委員	<p>玉山です。よろしいですか。</p>
小坂会長	<p>はい、玉山委員。</p>
玉山委員	<p>すいません、まず内容のことと、ちょっと別のことで一つあるんですけど。</p> <p>他の都道府県と比較してのロードマップということで、前回の委員会でも一部御説明いただいて、今日具体的に出てきたので、この内容の方はわかりやすく承知いたしました。</p> <p>ちょっと別の問題なんですけど、Webex、今使って会議してますけれども、私、</p>

	<p>前回PCでWebexに入っていて、今日iPadで入ってるんですけども、下のところにチャットが出てますけれども、皆さんこれ、チャット出てますか。iPadで今入ってるんですけど、下にですね、チャットが英字で、全然本論と関係なくて、そのマイクでしゃべってる人間の名前の表示で、英文字で全然会議の内容と違うチャットが次から次へと出てくるんですけど、これ、システム上何かトラブルになってるんじゃないかと思って気になって見てたんですけど、皆さんのどうなんでしょうか。</p>
小坂会長	<p>こっちで見てる分には、そのチャットラベルが出てきてないんですが、ひょっとすると、最近のWebexとかZoomとかになると、音声文字起こし機能があって、それが英語で設定されてると、ひょっとしたらそういうものが出てる。</p>
玉山委員	<p>いや、全然内容が違うんですね。まるでその第三者の名前が出たりとか、この委員会で議論してるのと全く違う内容が次から次へと出てきてるので、ちょっと前だとZoomのボミングなんかありましたけど、ちょっとセキュリティ上何かあるのかなと思って気になってましたので、御確認いただければと思います。</p>
小坂会長	<p>ちょっと音声は、隣とかとダブってる。でも、これはシステムと違うよね。事務局の方で何か御確認いただいて。</p>
佐藤副参事	<p>事務局でございますけれども、事務局のパソコンなどではですね、そうした表示は特に出ていないというところでございます。</p>
小坂会長	<p>オンラインでほかの委員で、もし同様な事象が起きてるというようなことがあれば、ちょっとお知らせいただければと思いますが。大丈夫そうですか。 なんかいろいろ、Teamsがおとといは止まったり、いろんな話があって、若干不安な、このWebexも。</p>
玉山委員	<p>ちょっとスクリーンショット撮りましたので。後で会議終わりましたら、御担当の方にお送りしますので、こんな状態ですということをお願いいたします。</p>
佐藤副参事	<p>参考とさせていただきますして、次回ちょっと留意してまいりたいと思います。ありがとうございます。</p>
小坂会長	<p>Webexだと、マイクをオフにしても、全部しゃべったやつが、サーバーの方に送られるというところは確認してますので。結構そういうオンラインシステムっていうのも、セキュリティのことを考えると若干怖いということがある中でのセキュリティということかなと思います。 私からのコメントで、この医療費の話って、結構、医療計画あるいは介護事業計画で、介護の方でも今までの医療療養型を介護医療院に変えると。そうするともう医療から介護に行くみたいな話とかですね、市町村の中ではかなりそういったものにも影響されるところがあって、介護保険を含めた、そういったきめ細かな市町村の計画とともに、やっぱりその辺のきめ細かな対応が必要になってくるなと思いつつ聞いておりました。</p>

	各委員から何か。
佐藤(幸)委員	すいません。
小坂会長	はい、佐藤委員、お願いします。
佐藤(幸)委員	資料2-2のですね、ロードマップ案ありますね。これのですね、課題1の α のところですけども、 α の低減に係る料金増への対応策ということで、特別交付金3号分ってなってるんですけど、これは何でしたか。教えてください。
榎課長	御質問ありがとうございます。 この α をですね、ただ引き下げていきますと、保険料が安かったところがだんだん高くなっていくというケースがございます。そういったところでですね、増えた分を、言葉は悪いですけど、 α を下げるためにですね、補填するようなことを今現在やっております。 ただ、これにつきましては、保険料(税)の統一という流れからすると、あまり、本当にそれをやっていいのかというところがございますので、今現在はそうやっておるんですが、今後、県の一般会計から特別会計に繰り入れているお金の使い方について、そのまま今後も行けるといことになるかどうか非常に不透明な状況がございますので、今後どうするかにつきましては、各市町村の方とですね、協議をしていく予定としております。 ちょっと説明があれですけど、いかがでしょうか。
佐藤(幸)委員	そうしますと、これは激変緩和措置の中の一部ということでもいいんですか。
榎課長	先ほど申し上げた激変緩和とはまた別な意味での、ソフトランディングを図るための措置という御理解をしていただければと思います。
佐藤委員	名称等については特にはないのですか。
榎課長	これは特にございません。
小坂会長	非常に複雑怪奇で、これ、 α を0にするための措置みたいなもの。全体の激変緩和措置も期限が一応設定されてるわけですよ。伸びる可能性もあるかもしれませんが、それ、いつ頃でしたっけ。
榎課長	はっきり国からアナウンスがあったわけではないのですが、令和5年度分、今回で終わりになる可能性がございます。この激変緩和につきましては、国の方から一部お金が入ってきてるんですが、これが次回以降来るかどうかというのは現時点でははっきりしておりません。ただ、このスパッと止めていいのかっていうのは、また別な議論がありまして、県の一般会計から特別会計に繰り入れてるお金の一部を使って、何らかの配慮をする必要があるのかなのか。そこら辺については、今後市町村と協議をしながら決めていくしかないのかなというふうに思っております。

小坂会長	<p>何か非常に重要な部分に関してなかなか国から示されないっていうのは、コロナでも一番皆さん困ってますが、そんな状況がこの部分でも続いているっていうのが、非常に本当に、県の皆さん、市町村の皆さん不安な、心配なところだなと思っております。ありがとうございます。</p> <p>ほかの委員、いかがですか。はい、木下委員お願いします。</p>
木下委員	<p>すみません。ちょっと細かい小さい話かもしれないんですけど、事務処理の標準化というのは、いろいろな面でできればメリットがあるのかなというふうに思っておりますけれども、どのような方向付けで標準化がされるのかということにちょっと関心がありまして。というのは、いろいろそこが意外と統一するのって大変なんじゃないかしらという気がしたもので、どこかがリーダーシップをとるとするか、方向付けをするとか、そういうふうな感じで進められるのか、どうなのかなと思っておりますお尋ねします。</p>
小坂会長	<p>ありがとうございます。事務局、お願いします。</p>
榎課長	<p>事務処理標準化につきましては、非常に細かい部分が多々ございまして、ちょっとここで例として挙げるのが適切かどうかかわからない、例えば出産育児一時金で、場合によっては死産になった場合でも支給される場合がございます。その場合に、申請書にですね、お子さんの名前を書かせるケースと書かせないケースがあったりいたしまして、ただ、やっぱり親御さんの気持ちを考えると、書かせるのはちょっとどうかなというところもありますので、書かせない方向で統一を図っていくとかですね、多岐にわたるんですが、そういった細かいことの積み重ねを各市町村の方とすり合わせをしているという状況でございます。</p>
木下委員	<p>そうですね、そういうふうに少し考えるとこちらの方がいいだろうっていうものもあると思うんですけど、システム的にこう合わせるっていうのは、結構それぞれの市町村で、今までの経緯があつてなかなか、途中で止めたりよそに合わせるっていうのは難しいこともあるのかなと思われましたので、どこかがリーダーシップをとってまとめられるのか、どうされるのかなというふうなことをお尋ねしたわけです。</p>
小坂会長	<p>事務局、お願いします。</p>
榎課長	<p>進め方といたしましては、どういった議題があるか、どういった課題があるか、こういったところで統一したほうがいいんじゃないかみたいな意見をですね、各市町村の方から集めまして、その集まった議題の中からですね、優先順位を決めて議題として図っているというところでございます。やっぱり実務のところはですね、なかなか県の方では把握できてないというところがございますので、そこら辺の問題意識はやはり市町村の方が強く持っているところでございますので、市町村のお知恵をお借りしながら進めているという状況でございます。</p>
木下委員	<p>この分野に限らず、普通の市町村合併の時、もっと少ない数の市町村でもシステム</p>

	を合わせたりするのは、相当に苦労があるというふうに聞いたことがございますので、どうなのかなというふうに思います。ありがとうございました。
小坂会長	こういうシステムの改修にお金とかって、どこかから出るんですかね。
榎課長	コンピューター上のシステムにつきましては、国の方で今全体的な標準化、どうするかというのを進めておりますので、それに沿った形であれば特に必要ないのですが、この事務処理標準化部会で扱ってる議題につきましては、そういったコンピューター上のシステムとかっていうのとはあまり関係ない部分がございます。
小坂会長	ほかの委員、特に御質問等ありますでしょうか。オンラインの委員も、ほかによろしいでしょうか。 はい、ありがとうございます。 それでは、原案どおりということにしたいと思います。
4 その他	
小坂会長	それでは、続きまして、次第4のその他に移ります。 委員の皆様から何か議題、ありますでしょうか。 特になさそうでございます。 事務局から何かございますでしょうか。
榎課長	事務局でございます。 今後のこの協議会の開催予定についてでございます。 令和4年度につきましては、今回が最後の開催となるんですが、令和5年度につきましては、宮城県国民健康保険運営方針、これを改定する年に当たってございますので、この審議をお願いする関係上ですね、開催回数が今の予定ですと1回増えまして3回開催するということを予定してございます。 令和5年度の1回目の会議につきましては、10月頃に開催する見込みですが、具体的な日程等につきましては、今後、皆様の御都合を踏まえて決定させていただきたいと思いますので、よろしくお願ひしたいと思います。
小坂会長	来年度会議が増えるということで、よろしくお願ひいたします。それでは、委員の皆様、次回の会議もよろしくお願ひします。 本日予定しておりました議題は全て終了いたしました。活発な御審議ありがとうございました。 この後の進行につきましては、事務局にお願ひいたします。
佐藤副参事	委員の皆様、長時間にわたる御審議大変お疲れ様でございました。 以上をもちまして、令和4年度第2回宮城県国民健康保険運営協議会を閉会いたします。ありがとうございました。
	【終了】

会長署名

印

会議録署名委員署名

印
